

平成 29 年度水産審議会 栽培・養殖・流通部会の概要

開催日：平成 30 年 3 月 16 日（金）13：30～15：30

出席者数：出席委員 8 名（委員数 10 名）

1 協議事項

（1）副部会長の選任について

小濱委員が副部会長に選任された。

（2）平成 29 年度種苗生産結果及び平成 30 年度種苗生産等計画（案）について

県栽培漁業センターが生産・中間育成する水産動物種苗について、平成 29 年度種苗生産結果の報告及び平成 30 年度種苗生産等計画（案）について説明。

- ・平成 29 年度種苗生産結果は、キジハタが当初計画を下回ったが、他の魚種は当初計画と同様か上回る結果であった。
- ・栽培センターで生産したクルマエビ 1,000 千尾を岡山県のガザミ 500 千尾と交換し有償配付。キジハタ 5 千尾を広島県のクロメバル 20 千尾と交換、50mm まで中間育成し、有償配付した。
- ・瀬戸内海沿岸 11 府県が共同で実施したサワラ種苗生産及び中間育成放流においては、従来と同様に、採卵・共同種苗生産を実施し、生産した種苗のうち 15.7 千尾を小田中間育成場で中間育成し、13.1 千尾を放流した。
- ・平成 30 年度種苗生産計画について、種苗販売単価は昨年度と同様とする。
- ・瀬戸大橋の開通を契機に始まった岡山県との種苗交換については、平成 30 年度は瀬戸大橋開通 30 周年の節目の年であり、取組強化のため種苗交換数量を増やす。
以上のとおり事務局より説明があり、原案のとおり承認された。

（3）平成 30 年度魚類養殖にかかる対応策（案）について

平成 29 年度の養殖関係実態調査の結果等から検討した平成 30 年度の魚類養殖に係る対応策について事務局より説明があり、原案のとおり承認された。

（4）平成 29 年度藻類養殖事業結果及び平成 30 年度藻類養殖事業計画（案）について

平成 29 年度藻類養殖事業結果及び平成 30 年度藻類養殖事業計画（案）についての説明があり、原案のとおり承認された。

2 報告事項

（1）香川県水産業基本計画の進捗管理について

平成 28 年 3 月に策定された「香川県水産業基本計画」の展開方向のうち「1. 消費者ニーズに即した養殖水産物の安定生産」、「2. 売れる地魚の持続的供給」、「3. 水産物の販売強化と流通の多様化」、「4. 水産物の消費拡大と理解の促進」について、平成 29 年度の主な取組みと成果、次年度以降の取組みと課題について報告があった。

3 その他

オリーブハマチのブランドを保持する方策について検討して欲しい、ノリを食害するチヌの駆除方法について、消費を増やすような取組みができないか、等の意見が委員より出された。

平成 29 年度水産審議会 漁港漁場整備部会の概要

開催日：平成 30 年 3 月 14 日（水）13:30～15:20

出席委員：6 名（委員数 7 名）

1 副部会長の選任について

青井委員が副部会長に選任された。

2 報告事項

(1) 香川県水産業基本計画の進行管理について

漁港漁場整備部会に関する基本計画の指標として、藻場造成面積、漁港における機能保全計画策定漁港数、漁港海岸保全施設の整備延長、の 3 項目ある。平成 29 年度は基本計画期間の 2 年目であったが、藻場造成の指標については予算が確保できず目標に対し進捗がやや遅れている。今後は漁港・漁場・海岸事業の進捗が適切に図られるよう、補助金や交付金の確保に努める旨、報告された。

(2) 平成 29 年度漁港整備事業の実施状況について

国の交付金事業及び補助事業、県単独補助事業を含め、事業費約 7 億円で、10 市町ののべ 46 漁港で事業が実施された（又は繰越で実施される）ことが報告された。

(3) 平成 29 年度漁場整備事業の実施状況について

増殖場工事として三豊地区と塩飽地区の 2 地区での実施状況、調査事業として播磨灘小豆地区、粟島地区及び高見地区でのモニタリング調査の結果について報告された。特にモニタリング調査では近年アイゴなどによりガラモ等の食害被害が目立つようになってきており、これも海水温の温暖化の影響と思われることが報告された。

3 協議事項

(1) 平成 30 年度漁港整備事業の計画（案）について

10 市町ののべ 30 漁港で、事業費約 10 億 4 千万円で機能保全事業の他、漁港機能強化事業、港整備交付金、特定漁港整備事業、高潮対策事業による整備等が計画されており、機能保全事業の工事については、3 漁港が継続実施であることや、平成 30 年度には海岸堤防等の長寿命計画策定事業に 20 漁港が取り組む計画案が事務局から提示され、承認された。

(2) 平成 30 年度漁場整備事業の計画（案）について

増殖場工事としては塩飽地区 1 工区で実施予定であること、調査事業については、粟島地区、詫間地区の 2 箇所増殖場整備後の効果調査を、また塩飽地区と東讃地区においては、新規増殖場整備のための深淺測量等の調査に取り組む計画案が事務局から提示され、承認された。

(3) 香川県海域における藻場ビジョン（案）について

国では平成 28 年 1 月に、効率的な藻場・干潟の保全・創造対策を推進するための基本的な考え方をまとめた「藻場・干潟ビジョン」を策定した。この国の藻場・干潟ビジョンに基づき、全国の海域で藻場・干潟ビジョンを策定することとなっており、このため、「香川県海域における藻場ビジョン（案）」の内容について協議を行った。内容としては、藻場の現状と課題、及び藻場造成のための今後の取り組み等の案が提示されており、原案どおり承認された。

平成 29 年度水産審議会 担い手対策部会の概要

開催日：平成 30 年 3 月 6 日（火）13：30～15：00

出席委員：7 名（委員数 7 名）

1 副部会長の選任について

西谷委員が副部会長に選任された。

2 報告事項 平成 29 年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施結果について

(1) 事業実施状況

漁業の担い手を確保、育成するため、漁業者を対象とした研修会の開催や香川県漁業士の活動支援、高校生を対象とした漁業体験研修等を実施した。

(2) 香川県漁業就業者確保育成センター相談状況

香川県漁業就業者確保育成センターにおいて平成 29 年度に 31 件の就業相談を受け、10 名が就業、1 名が就業内定した。

(3) 地域漁業体験学習会の実施状況

新規漁業就業者の確保を促進するため、水産関連教科を専門的に履修している高校生を対象に「地域漁業体験学習会」を開催した。

(4) 香川県水産業基本計画の進行管理

香川県水産業基本計画の進行管理のうち、担い手関係について事務局から説明があった。

3 協議事項

(1) 平成 30 年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施計画について

事務局から次のとおり説明があり、原案通り承認された。

平成 29 年度に引続き、漁業者を対象とした研修会の開催や、高校生を対象とした漁業体験研修等の実施、食育推進等に取り組む香川県漁業士の活動支援、新たな香川県漁業士の育成を促進する。また、香川県漁業就業者確保育成センターによる漁業就業情報の収集、提供を行い漁業の担い手の確保・育成に努める。さらに、「かがわ漁業塾」事業や新規就業者漁船漁具リース支援事業、新規漁業就業者生活安定給付金事業、新規漁業就業者総合支援事業を実施し、新規就業者の独立支援および漁業就業者の確保・育成を図る。また香川県水産業振興総合対策事業の一部である、漁協等における水産教室や男女共同参画活動に対する助成も引続き行う。

4 審査事項 香川県漁業士の認定について

知事から香川県水産審議会へ諮問があった「漁業士認定候補者の選考審査」について、指導漁業士候補者 4 名（うち、女性 1 名）の適格性を審査し、全員適当であると決定した。この結果を審議会に報告する。